

薬学実践英語 2

責 任 者・コーディネーター		薬科学講座構造生物薬学分野 阪本 泰光 教授	
担当講座・学科(分野)		薬科学講座（構造生物薬学分野、分析化学分野）、医療薬科学講座創剤学分野	
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 16 時間（8 コマ）
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・ねらい

日本の外国人労働者数は 2014 年には 78 万人であったが、2024 年では 230 万人と約 3 倍となり、外国人人口比率は、東京都で 4.1 %、岩手県で 0.7 % となっている。地方での人材不足解消を目指した入管法改正が度々行われ、滞在期限のない在留資格である特定技能 2 の対象分野は 2019 年の 2 分野から 2023 年には 11 分野へと拡大し、今後はさらに多くの業種へと拡大され、地方でも将来的に 1～2 割が外国人となることが予想される。このような外国人労働者数の受け入れ増加と滞在期間の無期限化によって、地方の医療機関においても、英語での問診、服薬指導が必要となる。そして、薬剤師としてのキャリア形成に役立つ専門・指導薬剤師の資格および学位の取得には、国際学会での発表や英語論文の執筆が必要である。

そして、COVID-19 のような新たな疾患とその治療法に関する最新の情報の殆どは英語で提供される。そのため、薬剤師自らが情報を収集し、客観的に評価し、理解し、情報提供することが求められる。そこで、本講義では、自らの英語力を認識し、将来的な英語力向上に向けた自己学修能力を身に着けることを目的とする。

自らの英語能力の認識について

リスニングおよび文章読解のオンラインテストにより、自らの英語力を確認する。

臨床・研究・教育で必要となる英語力を身に着けるために

薬学・医学・生物分野の英文を読み、専門用語も含めて理解する。

英文問診票の作成やロールプレイを通じて医療現場での英語による情報収集能力の基礎を学ぶ。

英語のビデオ教材を視聴し、その内容を理解する。

・学修目標

- 1) 自分の英語力を認識し、様々な場面で必要となる英語力を身につけるために学修できる。
- 2) 薬学の研究・臨床・教育における英語の必要性を理解し、説明できる。
- 3) 薬学・医学・生物分野の基礎的用語を説明できる。
- 4) 薬学・医学・生物分野の英文を理解し、その内容を説明できる。
- 5) 薬学・医学・生物分野の英語の音声、ビデオ教材を理解し、その内容を説明できる。
- 6) 患者や医療スタッフとのコミュニケーション能力を身につけるために学修できる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 4 年度改訂版）対応項目

F-5-1 医療・福祉・公衆衛生の現場で活動するための基本姿勢

・学修事項

- (1) EFset による基本的なリーディングおよびリスニングスキルの確認
- (2) 医学・薬学に関する英文の読解
- (3) 医学・薬学に関する動画、音声教材によるリスニング
- (4) 医学・薬学に関するケーススタディに関するグループワーク

・この科目を学ぶために関連の強い科目

実践英語、科学英語、海外英語演習、薬学実践英語 1

・この科目を学んだ後につなげる科目

卒業研究、薬学特論 1、薬学特論 2、実務実習、4 学部合同セミナー

・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/11	金	2	構造生物薬学分野	阪本 泰光 教授	講義内容、課題の説明 英語での情報収集 (Drug@FDA など) 英語力の確認 EF Set Standard(60 分) 【双方向学修】 【調査学修】 1. 自分の英語力を認識し、様々な場面で必要となる英語力を身につけるために学修できる。 2. 薬学の研究・臨床・教育における英語の必要性を理解し、説明できる。 事前学修：EF SET Quick を受験し、CEFR A2 レベル以上の英語力であることを確認し、到達していなければ、CEFR A2 レベル以上の英語力を有するようにすること。ユーザー登録を完了させておくこと。余裕があれば EF Set Standard を受験すること。 事後学修：講義で扱った薬学専門用語を復習する。医学・薬学・生物分野の英文および視聴覚教材を読解する。
10/8	木	2	創剤学分野	杉山 育美 准教授	EF Set Quick(15 分)の実施、基本英単語、医療用語の習得と医学・薬学生物・分野の英文読解、リスニング 【双方向学修】 1. 自分の英語力を認識し、様々な場面で必要となる英語力を身につけるために学修できる。 2. 薬学・医学・生物分野の基礎的用語を説明できる。

					3. 薬学・医学・生物分野の英文を理解し、その内容を説明できる。 4. 薬学・医学・生物分野に関する英語の視聴覚教材を理解し、その内容を説明できる。 事前学修：事前配布する資料の英単語の意味を調べ、要約しておく。 事後学修：講義で扱った薬学・医学・生物分野に関する内容を復習する。薬学・医学・生物分野に関する視聴覚教材の内容を要約し、理解する。
10/23	金	2	創 剤 学 分 野	杉 山 育 美 准 教 授	EF Set Quick(15 分)の実施、基本英単語、医療用語の習得と医学・薬学生物・分野の英文読解、リスニング 【双方向学修】 1. 自分の英語力を認識し、様々な場面で必要となる英語力を身につけるために学修できる。 2. 薬学・医学・生物分野の基礎的用語を説明できる。 3. 薬学・医学・生物分野の英文を理解し、その内容を説明できる。 4. 薬学・医学・生物分野に関する英語の視聴覚教材を理解し、その内容を説明できる。 事前学修：事前配布する資料の英単語の意味を調べ、要約しておく。 事後学修：講義で扱った薬学・医学・生物分野に関する内容を復習する。薬学・医学・生物分野に関する視聴覚教材の内容を要約し、理解する。
10/27	火	3	分 析 化 学 分 野	藤 本 康 之 准 教 授	EF Set Quick(15 分)の実施、基本英単語、医療用語の習得と医学・薬学・生物分野の英文読解、リスニング 【双方向学修】 1. 自分の英語力を認識し、様々な場面で必要となる英語力を身につけるために学修できる。 2. 薬学・医学・生物分野の基礎的用語を説明できる。 3. 薬学・医学・生物分野の英文を理解し、その内容を説明できる。 4. 薬学・医学・生物分野に関する英語の視聴覚教材を理解し、その内容を説明できる。

					事前学修：事前配布する資料の英単語の意味を調べ、要約しておく。 事後学修：講義で扱った薬学・医学・生物分野に関する内容を復習する。薬学・医学・生物分野に関する視聴覚教材の内容を要約し、理解する。
11/16	月	2	分析化学分野	藤本 康之 准教授	EF Set Quick(15 分)の実施、基本英単語、医療用語の習得と医学・薬学生物・分野の英文読解、リスニング 【双方向学修】 1. 自分の英語力を認識し、様々な場面で必要となる英語力を身につけるために学修できる。 2. 薬学・医学・生物分野の基礎的用語を説明できる。 3. 薬学・医学・生物分野の英文を理解し、その内容を説明できる。 4. 薬学・医学・生物分野に関する英語の視聴覚教材を理解し、その内容を説明できる。 事前学修：事前配布する資料の英単語の意味を調べ、要約しておく。 事後学修：講義で扱った薬学・医学・生物分野に関する内容を復習する。薬学・医学・生物分野に関する視聴覚教材の内容を要約し、理解する。
11/20	金	2	構造生物薬学分野	阪本 泰光 教授	EF Set Quick(15 分)の実施、基本英単語、医療用語の習得と医学・薬学・生物分野の英文読解、リスニング 【双方向学修】 1. 自分の英語力を認識し、様々な場面で必要となる英語力を身につけるために学修できる。 2. 薬学・医学・生物分野の基礎的用語を説明できる。 3. 薬学・医学・生物分野の英文を理解し、その内容を説明できる。 4. 薬学・医学・生物分野に関する英語の視聴覚教材を理解し、その内容を説明できる。 事前学修：事前配布する資料の英単語の意味を調べ、要約しておく。 事後学修：講義で扱った薬学・医学・生物分野に関する内容を復習する。薬学・医学・生物分野に関する

					視聴覚教材の内容を要約し、理解する。
12/4	金	2	構造生物薬学分野	阪本 泰光 教授	EF Set Quick(15 分)の実施、 英文問診票の作成、ロールプレイ 基本英単語、医療用語の習得と医学・ 薬学・生物分野の英文読解、リスニン グ 【双方向学修】【調査学修】 1. 自分の英語力を認識し、様々な場 面で必要となる英語力を身につけ るために学修できる。 2. 薬学・医学・生物分野の基礎的用 語を説明できる。 3. 薬学・医学・生物分野の英文を理 解し、その内容を説明できる。 4. 薬学・医学・生物分野に関する英 語の視聴覚教材を理解し、その内 容を説明できる。 事前学修：事前配布する資料の英単 語の意味を調べ、要約しておく。 事後学修：講義で扱った薬学・医 学・生物分野に関する内容を復習す る。薬学・医学・生物分野に関する 視聴覚教材の内容を要約し、理解す る。
12/8	金	4	構造生物薬学分野	阪本 泰光 教授	基本英単語、医療用語の習得と 医学・薬学・生物分野の英文読解、 リスニング EF Set Standard(60 分)の実施(中間試 験：リスニング、MCQ) 【双方向学修】 1. 薬学・医学・生物分野の基礎的用 語を説明できる。 2. 薬学・医学・生物分野の英文を理 解し、その内容を説明できる。 3. 薬学・医学・生物分野に関する英 語の視聴覚教材を理解し、その内 容を説明できる。 事前学修：事前配布する資料の英単 語の意味を調べ、要約しておく。 事後学修：講義で扱った薬学・医 学・生物分野に関する内容を復習す る。薬学・医学・生物分野に関する 視聴覚教材の内容を要約し、理解す る。

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	△
2. 地域における人々の健康に関心をもち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	△
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	△
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	◎

・評価事項とその方法

講義中に実施する EF Set Standard（リスニング、MCQ）もしくは同等の試験による CEFR A2 レベル（A2：英検 3 級以上相当 中学卒業程度、B1：英検準 2 級相当 高校中級程度）以上の結果を成績評価の一部とする。評価の目安（A2：5 %、B1 以上：15 %）

定期試験（記述式：85 %）と EF Set のレベルで総合的に評価する。

EF set は TOEIC とほぼ同じ形式です。TOEIC の学習サイトなどでの自習を推奨します。

なお、EF set Standard 実施時に公欠の場合には学生に不利とならない評価方法を検討する。

EF set 等を不正な方法で受験した場合には、定期試験、再試験も含めて受験資格を失う。

学修事項	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～4	1～4	15			85			100
合計		15			85			100

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Understanding Health Care : 医療の世界：基本情報と表現 演習	西村月満[ほか]編著	Asahi Press	2011
参	Essential 細胞生物学 原書第 5 版	B. Alberts 他	南江堂	2021
参	医療スタッフのための英会 話ハンドブック 改訂版	ルーサーリンク、 カートリンク、村瀬 忠	研究社	2015
参	Nature Digest	雑誌	Springer Nature	-

・特記事項・その他

受講には最低でも CEFR A2 レベルの英語力（英検 3 級（中学卒業）程度）が必要です。

受講前に、CEFR A2 レベルとなるように事前学修をしてください。

講義中にオンラインテスト（EF Set）を実施するため、インターネットに接続できるようにセットアップした PC および **イヤフォン・ヘッドセット**を持参すること。

復習として、講義で配布した資料に出ている医学・薬学・生物学専門用語を覚え、英文の内容を理解すること。

また、講義で視聴した医学・薬学・生物分野のビデオの英文の書き取り、要約をすること。
 授業に対する事前学修（予習・復習）の時間は各々最低 90 分を要する。さらに、定期試験前には 5 時間程度の総復習の時間を確保する必要がある。

CEFR: ヨーロッパ言語共通参照枠 様々な言語に共通した評価基準

EF Set、定期試験後に、フィードバックとして補講もしくは解説の配布等を実施する。

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	講義資料の投影、および視聴覚資料再生のため
講義	プロジェクタ	1	講義資料の投影、および視聴覚資料再生のため